

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	子どもの体力向上啓発事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	参事官(体育・青少年スポーツ担当)		参事官 長登 健		
会計区分	一般会計		施策名	XI-1 子どもの体力の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	スポーツ振興法第5条 国及び地方公共団体は、(中略)体育の日において、(中略)、ひろく国民があらゆる地域及び職域でそれぞれその生活の実情に即してスポーツをすることができるような行事が実施されるよう、必要な措置を講じ、及び援助を行なうものとする。		関係する計画、通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発活動を実施するとともに、保護者等に対して子どもの体力向上の重要性についての理解を促すため、スポーツ振興法に基づく体育の日の中央記念行事として、親子で参加するスポーツ体験教室や新体力テスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○スポーツ振興基本計画に基づき子どもの体力向上を図るため、小学校等に著名スポーツ選手等の指導チームを派遣し、講話や実技指導を行うことにより、体を動かすことの楽しさや正しい生活習慣を身につけることの大切さ、スポーツの素晴らしさなどを子どもたちに伝え、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ態度や習慣を身に付けさせる。【実施箇所数：940箇所】 ○スポーツ振興法に基づく体育の日の中央記念行事として、著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発活動を実施するとともに、保護者等に対して子どもの体力向上の重要性についての理解を促すため、親子で参加するスポーツ体験教室や新体力テスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	80	267	249		
		補正予算	-	-3	0			
		繰越し等	-	-	0			
		計	-	77	267	249	226	
		執行額	-	77	194			
	執行率(%)	-	100%	73%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	著名なスポーツ選手を派遣した教室に参加した後、運動やスポーツをすることが楽しいと思う小学校4年から6年生の割合		成果実績	%	-	-	73.9	80
			達成度	%	-	-	92.4	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	著名なスポーツ選手によるスポーツ教室を開催する講習会数		活動実績 (当初見込み)	回	-	-	796 (940)	- (940)
	「体育の日」中央記念行事における参加者		活動実績 (当初見込み)	回	-	14,300	14,300 (3,000)	- (3,000)
	子どもの体力向上啓発ポスター作成数		活動実績 (当初見込み)	枚	-	103,700	102,500 (116,669)	- (115,396)
単位当たりコスト	著名なスポーツ選手によるスポーツ教室の1教室当たりのコスト 180,554 (円/開催教室数)		算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度執行額(143.7百万円)/平成22年度開催教室数(796教室)				
	「体育の日」中央記念行事における参加者1人当たりのコスト 3,112 (円/人)		算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度執行額(44.5百万円)/平成22年度開催教室数(14,300人)				
	子どもの体力向上啓発ポスター1枚当たりの単価 49 (円/枚)		算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度執行額(5.0百万円)/平成22年度ポスター作成数(102,500枚)				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	スポーツ振興事業委託費	249百万円	226百万円					
	計	249百万円	226百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	著名なスポーツ選手によるスポーツ教室について、予定した開催数が大幅に減ったため。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・当該事業の予算の執行状況に係る点検方法については、実地検査において、証拠書類により適切な執行が行われているか確認している。</p> <p>・小学校等に著名スポーツ選手等の指導チームを派遣し、講話や実技指導を実施することで、著名なスポーツ選手を派遣した教室に参加した後のアンケートにおいて、運動やスポーツをすることが楽しいと思う小学校4年から6年生の割合が増加していることから、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ態度や習慣を着実に身に付けていると認められる。</p> <p>・当該事業において、著名なスポーツ選手によるスポーツ教室について、予定した開催数が大幅に減ったため、見込みを下回った。これは、各学校に対する本事業に関する内容の周知不足が要因とされることから、23年度は、各学校に対する周知徹底を図るべきである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発事業を実施するとともに、保護者等に対し子どもの体力向上の促すため、体験教室や体力テスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図ることを目的とした事業であり、予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：①この事業は、平成22年度において予算に不用が生じており、予算と実績との差異の要因等を十分精査しつつ、引き続き予算の見直しを図るべきである。</p> <p>②支出先上位10者リストのA-1との契約が1者応募になっていることから、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>当該事業の平成22年度の執行実績を踏まえ、著名スポーツ派遣校数及び積算単価等を見直し、概算要求▲55.339百万円反映した。また、契約にあたっては、競争参加条件の見直しの検討を行うとともに、公募期間を延長するなど、さらなる競争性の確保に努めることとする。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>スポーツ振興事業委託費について、概算払した経費の内、73百万円を返還。 (著名なスポーツ選手によるスポーツ教室について、予定した開催数が大幅に減ったため。)</p>			

文部科学省
194百万円

著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発活動を実施するとともに、保護者等に対して子どもの体力向上の重要性についての理解を促すため、スポーツ振興法に基づく体育の日の中央記念行事として、親子で参加するスポーツ体験教室や新体カテスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図る。

【公募・委託】

A. (財)日本体育
協会
194百万円

○スポーツ振興基本計画に基づき子どもの体力向上を図るため、小学校等に著名スポーツ選手等の指導チームを派遣し、講話や実技指導を行うことにより、体を動かすことの楽しさや正しい生活習慣を身につけることの大切さ、スポーツの素晴らしさなどを子どもたちに伝え、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ態度や習慣を身に付けさせる。【実施箇所数:940箇所】
○スポーツ振興法に基づく体育の日の中央記念行事として、著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発活動を実施するとともに、保護者等に対して子どもの体力向上の重要性についての理解を促すため、親子で参加するスポーツ体験教室や新体カテスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

A. (財)日本体育協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
講師派遣費	業者払い講師派遣費用等	79.5			
諸謝金	委員等謝金	50.9			
旅費	委員等旅費	34.5			
一般管理費	一般管理費	17.6			
印刷製本費	チラシ、パンフレット印刷	5.4			
通信運搬費	ポスター送料	4.3			
賃金	事務経費	1.2			
保険料	参加者保険	0.3			
消耗品費	入賞者記念品等	0.2			
その他	会議費、借料	0.1			
計		194.0	計		
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.子どもの体力向上啓発事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本体育協会	<p>○スポーツ振興基本計画に基づき子どもの体力向上を図るため、小学校等に著名スポーツ選手等の指導チームを派遣し、講話や実技指導を行うことにより、体を動かすことの楽しさや正しい生活習慣を身につけることの大切さ、スポーツの素晴らしさなどを子どもたちに伝え、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ態度や習慣を身に付けさせる。【実施箇所数:940箇所】</p> <p>○スポーツ振興法に基づく体育の日の中央記念行事として、著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発活動を実施するとともに、保護者等に対して子どもの体力向上の重要性についての理解を促すため、親子で参加するスポーツ体験教室や新体力テスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図る。</p>	194	企画競争	—